

課題名：「大規模崩壊現象とその対策手法に関する研究」

近年、平成16年の中越地震や平成17年の台風14号等により、規模の大きい崩壊にともなう河道閉塞や土石流が発生し、多大な被害が生じています。一方、このような大規模崩壊をハード対策によって防止しようとした場合、施設規模が大きくなることが予想され、減災方法のひとつとして、大規模崩壊発生危険箇所の監視すること等が極めて重要となります。

また、大規模崩壊発生後の豪雨において、崩壊土砂が再移動するなどにより下流域に被害が生じることもあります。そのため、大規模崩壊発生後の土砂動態の予測、対策手法の確立が求められています。

そこで、下記に示す地区において、大規模崩壊現象の解明、監視・モニタリング手法の確立、大規模崩壊に係わる土砂災害に対する対策手法に関する研究を実施します。この研究により、得られた成果は、大規模崩壊を含む土砂災害対策の計画立案、崩壊地及び流域の監視等に資することが期待されます。

上記の課題を踏まえ、以下のような研究が想定されます。

- 大規模崩壊発生危険箇所の監視手法に関する研究
- 大規模崩壊発生後の土砂の挙動推定に関する研究
- 大規模崩壊地を有する流域における対策手法のあり方に関する研究
- 大規模崩壊地を有する流域における土砂動態モニタリング手法に関する研究
- 大規模崩壊発生危険箇所の抽出手法に関する研究

また、以下の機関が共同研究として、参加予定です。尚、各機関は()内の研究を希望しています。

- ・ 北陸地方整備局 湯沢砂防事務所 ()
- ・ 関東地方整備局 富士川砂防事務所 ()
- ・ 中部地方整備局 天竜川河川事務所 ()
- ・ 中国地方整備局 日野川河川事務所 ()
- ・ 四国地方整備局 四国山地砂防事務所 ()
- ・ 九州地方整備局 宮崎河川国道事務所 ()